

実施年月日：令和3年8月16日（月）19:30～22:10

天候：曇 場所：有峰ビジターセンター北側

気温：20.5℃→18.0℃

月齢：上弦 7.5（小潮）

令和3年8月16日（月）に第4回目の「ミニ観察会」を開催しました。参加者は有峰ハウス宿泊の1家族 父親と息子さんの2名です。今回の御希望は、大型のヤマムユガ科のヤマムユやオオミズアオを直に観察することのこと。夕方17時、灯火採集セットを準備し、19:00よりライトオン 開始時刻を待ちました。

19:30 有峰ビジターセンター（VC）に親子が来館。まず検温やアルコール消毒などを実施し、コロナ対策に努めました。

19:40 VC北側に移動。灯火灯前にて、灯火採集法について説明し飛来を待ちました。

22:10 ミニ観察会を終了。

前回8月8日（日）に比べ、寒さを実感しました。当夜は、月齢が小潮で、21:00頃には、上空に上弦の月が見え始めました。蛾類として、ドクガ科はマイマイガやノンネマイマイが、スズメガ科はクルマスズメとサザナミスズメが飛来しました。シャチホコガ科のシャチホコガ類（未同定4種）、シャクガ科はオオアヤシャク、チャマダラエダシャク、ムラサキエダシャクやヒョウモンエダシャクなどが、ヒトリガ科はヨツボシホソバ、アカスジシロコケガ、ベニヘリコケガが、コブガ科はアオスジアオリンガなどが、メイガ科では、フキノメイガが、ヤガ科では、オオアオバヤガなどが飛来しました。ミニ観察会が実施された19:30から22:10の時間帯では、残念ながらヤマムユやオナガミズアオの飛来はありませんでした。蛾類以外には、クワガタムシ科のミヤマクワガタ♀、コガネムシ科のヒメスジコガネ、クサカゲロウやカマキリモドキも飛来しました。

参加した息子さんは7歳、飛来した昆虫の名前やその特性について熟知しており、その聡明さに大変驚かされました。色々と情報交換でき、楽しい観察会となりました。ライトトラップは、蛾類の分布調査のため、朝まで継続実施しました。嬉しいことに深夜にヤマムユ♂、オナガミズアオ♂やミヤマクワガタの♂が飛来していたため、17（火）朝にも再館された参加者に飛来したヤマムユやミヤマクワガタを、手に取って直に観察することができ、「有峰は昆虫の宝庫！」と絶賛戴きました。クスサンも観察したいと次回の来館に意欲を示されました。

良かった点：ステージ3に伴う規制となる前に、予定通り開催出来たこと、翌朝、深夜に飛来したヤマムユなどを親子で観察出来たこと

反省点：希望されたヤマムユやオオミズアオが観察会の時間帯に観察できなかったこと



灯火採集法について説明中の霜鳥



飛来した昆虫類を同定中の霜鳥と参加者



ミヤマクワガタを手にされた参加者



ヤマムユ観察中の参加者